

平成29年の救急出場件数等について

1 救急出場件数及び搬送人員

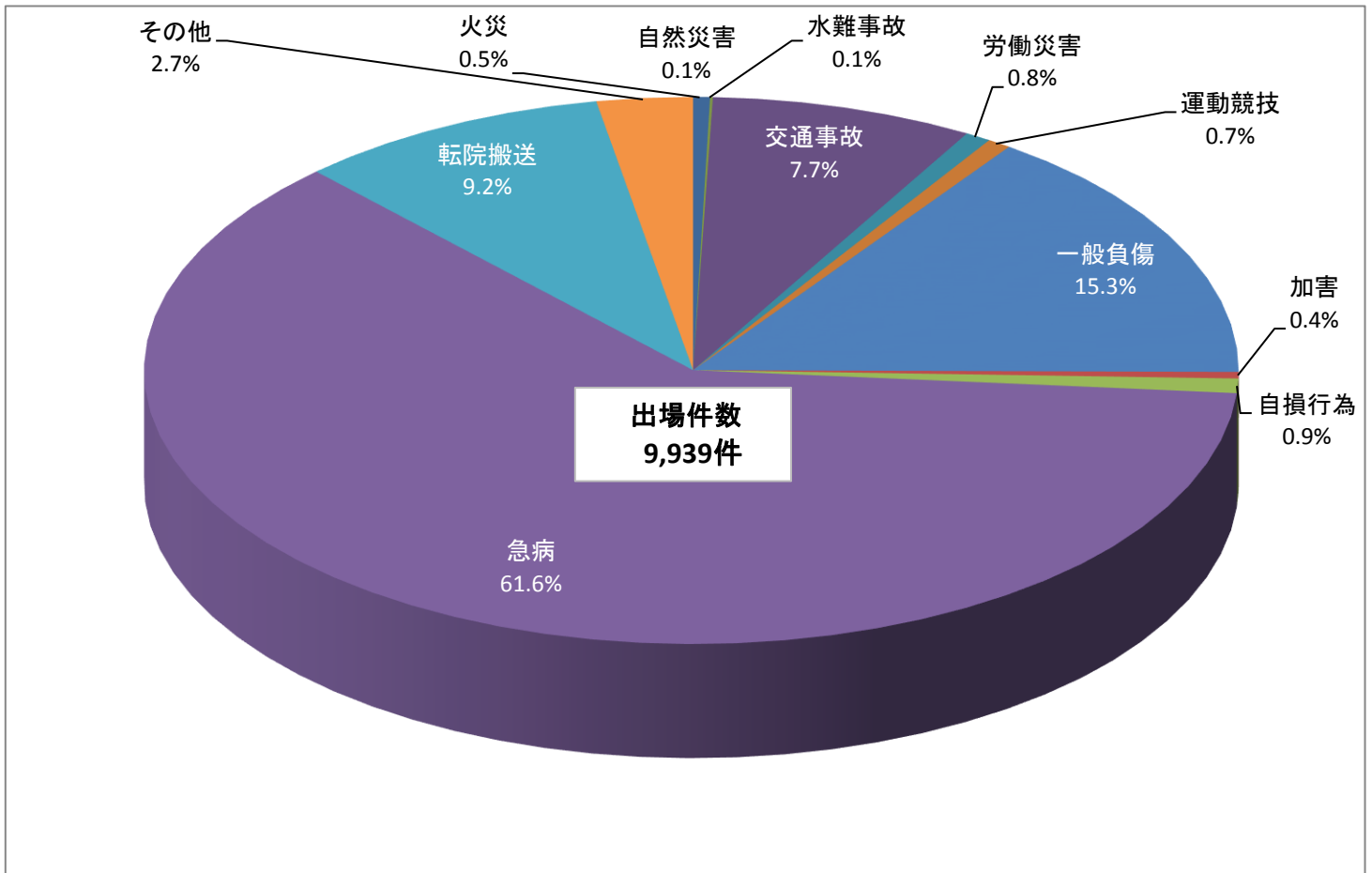
期間	出場件数			搬送人員		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
平成28年	9,994件	7,021件	2,973件	7,879人	5,464人	2,415人
平成29年	9,939件	6,951件	2,988件	7,799人	5,398人	2,401人
増減	-55件	-70件	15件	-80人	-66人	-14人

- ・救急件数については、宇部市が70件減少、山陽小野田市では15件増加し、全体で55件減少しました。
- ・搬送人員については、宇部市が66人減少、山陽小野田市は14人減少し、全体で80人減少しました。

2 事故種別出場件数・搬送人員

	平成28年			平成29年			増減		
	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市
合計	9,994件	7,021件	2,973件	9,939件	6,951件	2,988件	-55件	-70件	15件
	7,879人	5,464人	2,415人	7,799人	5,398人	2,401人	-80人	-66人	-14人
火災	31件	25件	6件	49件	35件	14件	18件	10件	8件
	7人	5人	2人	11人	8人	3人	4人	3人	1人
自然災害	1件	1件	0件	0件	0件	0件	-1件	-1件	0件
	1人	1人	0人	0人	0人	0人	-1人	-1人	0人
水難事故	16件	6件	10件	8件	4件	4件	-8件	-2件	-6件
	5人	3人	2人	4人	2人	2人	-1人	-1人	0人
交通事故	820件	633件	187件	770件	565件	205件	-50件	-68件	18件
	645人	488人	157人	571人	407人	164人	-74人	-81人	7人
労働災害	82件	50件	32件	75件	44件	31件	-7件	-6件	-1件
	72人	43人	29人	68人	41人	27人	-4人	-2人	-2人
運動競技	71件	40件	31件	69件	45件	24件	-2件	5件	-7件
	67人	38人	29人	61人	42人	19人	-6人	4人	-10人
一般負傷	1,560件	1,107件	453件	1,524件	1,077件	447件	-36件	-30件	-6件
	1,233人	862人	371人	1,211人	852人	359人	-22人	-10人	-12人
加害	49件	39件	10件	38件	33件	5件	-11件	-6件	-5件
	28人	25人	3人	24人	19人	5人	-4人	-6人	2人
自損行為	107件	78件	29件	85件	59件	26件	-22件	-19件	-3件
	76人	51人	25人	47人	36人	11人	-29人	-15人	-14人
急病	6,017件	4,235件	1,782件	6,123件	4,310件	1,813件	106件	75件	31件
	4,778人	3,350人	1,428人	4,884人	3,420人	1,464人	106人	70人	36人
転院搬送	967件	599件	368件	917件	572件	345件	-50件	-27件	-23件
	964人	598人	366人	913人	569人	344人	-51人	-29人	-22人
その他	273件	208件	65件	281件	207件	74件	8件	-1件	9件
	3人	0人	3人	5人	2人	3人	2人	2人	0人

## 平成29年の救急出場件数(グラフ)



・事故種別ごとによる出場件数で最も多い「急病」は6,123件で、全体の61.6%を占め、次いで「一般負傷」が1,524件で15.3%、「転院搬送」が917件で9.2%、「交通事故」が770件で7.7%となっており、昨年と同様の傾向となっています。

また、昨年の出場件数から比較すると、主に「火災」、「急病」、「その他」が増加しており、それ以外の事故種別については減少しています。

### 3 今後の課題

・昨年中の救急出場件数は1万件を下回っており、全体で昨年より55件減少しています。

全国的に高齢者の増加と同居世帯の減少により、救急件数は右肩上がりの傾向を押さえられない状況ですが、今後、増加傾向にある救急件数に対して、限られた台数の救急車で、いかに効率よく救急対応していくのか、更には「緊急性のある救急」と「そうでない救急」を見分けることが今後も課題となります。